

製品安全データシート

1【製品及び会社情報】

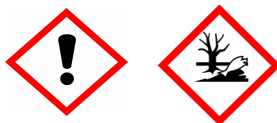
製品名：CMエコボンドD 主剤 (春秋冬)
推奨用途及び使用上の制限：建築用塗料(水系ボンド)、業務用
会社名：株式会社ダイフレックス
住所：東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル25F
電話番号：03-5381-0881
輸送時の緊急連絡先：コスミック事業部 03-5321-9761

2【危険有害性の要約】

GHS分類

| | | |
|-------------------|-------------------|----------|
| 物理化学的危険性： | 火薬類 | 分類対象外 |
| | 可燃性引火性ガス | 分類対象外 |
| | 可燃性・引火性エアゾール | 分類対象外 |
| | 支燃性・酸化性ガス | 分類対象外 |
| | 高压ガス | 分類対象外 |
| | 引火性液体 | 区分外 |
| | 可燃性固体 | 分類対象外 |
| | 自己反応性化学品 | 分類できない |
| | 自然発火性液体 | 分類できない |
| | 自然発火性固体 | 分類対象外 |
| | 自己発熱性化学品 | 分類できない |
| | 水反応可燃性化学品 | 分類対象外 |
| | 酸化性液体 | 分類対象外 |
| | 酸化性固体 | 分類対象外 |
| | 有機過氧化物 | 分類対象外 |
| | 金属腐食性物質 | 分類できない |
| | 健康に対する有害性： | 急性毒性(経口) |
| 急性毒性(経皮) | | 分類できない |
| 急性毒性(吸入:ガス) | | 分類対象外 |
| 急性毒性(吸入:蒸気) | | 分類できない |
| 急性毒性(吸入:粉塵) | | 分類対象外 |
| 急性毒性(吸入:ミスト) | | 分類できない |
| 皮膚腐食性/刺激性 | | 区分 2 |
| 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 | | 区分 2B |
| 呼吸器感作性 | | 分類できない |
| 皮膚感作性 | | 区分 1 |
| 生殖細胞変異原性 | | 分類できない |
| 発がん性 | | 分類できない |
| 生殖毒性 | | 分類できない |
| 特定標的臓器/全身毒性(単回暴露) | | 分類できない |
| 特定標的臓器/全身毒性(反復暴露) | 分類できない | |
| 吸引性呼吸器有害性 | 区分外 | |
| 環境に対する有害性： | 水生環境急性有害性 | 区分 2 |
| | 水生環境慢性有害性 | 区分 2 |

ラベル要素 絵表示



注意喚起語 : 警告
 危険有害性情報 : 皮膚刺激
 眼刺激
 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
 水生生物に毒性
 長期的影響により水生生物に毒性

注意書き

予防策

- 使用前に製品のラベルを読み、すべての安全注意を理解するまで取り扱わないこと。
- 保護手袋、保護メガネ、保護帽、保護衣、安全靴など個人用保護具を使用すること。
- 容器は密閉しておくこと。
- 熱 / 火花 / 裸火 / 高温のもののような着火源から遠ざけること。 - 禁煙。
- 容器を接地すること / アースをとること。
- 工具は防爆型の電気機器 / 換気装置 / 照明機器を使用すること。
- 静電気放電に対する予防措置を講ずること。火災を発生しない工具を使用すること。
- この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- 取扱い後はよく手を洗うこと。
- 製品のガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
- 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- 環境への放出を避けること。

応急処置

- **吸入した場合**
 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師に連絡すること。
 呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- **皮膚(または髪)についた場合**
 直ちに、取り除くこと。皮膚を多量の水と石鹸で洗うこと。
 流水、シャワーで洗うこと。
 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
- **着衣に付着した場合**
 汚染された衣類をすべて脱ぐこと。
- **暴露または暴露の懸念がある、または気分が悪い場合**
 医師に連絡し医師の診断、手当てを受けること。
- **飲み込んだ場合**
 直ちに医師に連絡すること。
 無理に吐かせないこと。
- **眼に入った場合**
 水で数分間注意深く洗うこと。
 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。またその後も洗浄を続けること。
 眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。
- **漏出した場合**
 漏洩物を回収すること。

保管

- 施錠して保管すること
- 涼しい所、換気の良い場所で保管すること。

廃棄

内容物や容器は、関係法令、地方自治体の規制等に従って廃棄すること。

3 [組成及び成分情報]

単一製品・混合物の区別 : 混合物
 化学名又は一般名 : ポリクロロブレンラテックス系接着剤
 成分

| 化学名 または 一般名 | 濃度又は濃度範囲 (%) | CAS 番号 | 化審法 官報公示整理番号 |
|-------------|--------------|--------|--------------|
| クロロブレンラテックス | 15-25 | 記載あり | 登録済み |
| 粘着付与樹脂 | 20-30 | 記載あり | 登録済み |

| | | | |
|-------------------|-------|------------|----------|
| ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂 | 5-15 | 25068-38-6 | (7)-1283 |
| 変性エポキシ樹脂 | 0-10 | 登録済み | (7)-260 |
| エチレングリコール | 0-10 | 107-21-1 | (7)-230 |
| トリエタノールアミン | 0-10 | 102-71-6 | (2)-303 |
| メチルシクロヘキサン | 0-10 | 108-87-2 | (3)-2230 |
| 水 | 30-40 | 7732-18-5 | 対象外 |

4【応急措置】

吸入した場合

臭気などで気分が悪くなった場合は、空気の新鮮な場所に移動させ、安静、保温に努め、速やかに医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

付着した衣服、靴を脱ぎ、付着した部分に水または微温水を流しながら石鹸等を用いて充分洗浄する。皮膚に炎症等を起こした場合は専門医の診断を受ける。

目に入った場合

清浄な水で15分以上洗眼した後、眼科医の診断を受ける。

飲み込んだ場合

吐き出させ、水で口の中を良く洗い、直ちに医師の診療を受けさせる。

5【火災時の措置】

通常の条件では燃えないので火災の危険性は少ない。このもの自体に可燃性はないが、水分蒸発後の乾燥物は可燃性となる。

消火剤

注水、粉末消火器、粉末炭酸ガス消火器、泡消火器、防火砂 等

使ってはならない消火剤

データなし

特有の危険有害性

燃焼した場合は塩化水素、二酸化炭素、一酸化炭素等の有害ガスが発生するので適切な呼吸保護具を着用して消火活動を行う。

特有の消火方法

火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。延焼の恐れのないよう水スプレーで周辺を冷却する。

消火を行う者の保護

消火作業の際には有害なガスを吸い込まないように呼吸用保護具を着用し、風上から消火作業を行う。

6【漏出時の措置】

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

屋内の場合、処理が終わるまでに十分に換気を行う。作業に際しては、保護具を着用し、蒸気の吸入や皮膚への接触を防止する。

漏出した場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。

環境に対する注意事項

流路を毛布、土壌を用いてせき止め、河川、水路等への流出を防止する。

流出した場合は直ちに監督官庁へ連絡する。また、必要に応じて警察署、消防署、保健所、水道局、河川管理局、農協、漁協等に連絡する。

回収、中和

多量の場合は、ポンプ等により回収する。少量の場合は、おが屑、土砂、ウエスなどに吸収させ空容器に回収し、残りをウエス、雑巾などでよく拭き取る。

封じ込め及び浄化方法・機材

多量の場合は、ポンプ等により回収する。少量の場合は、おが屑、土砂、ウエスなどに吸収させ空容器に回収し、残りをウエス、雑巾などでよく拭き取る。

二次災害の防止策
データなし

7【取扱い及び保管上の注意】

取扱い

技術的対策

取扱者の暴露防止

取扱いの際には、換気の良い場所で行う。目、皮膚への接触を防止するため、状況に応じて保護眼鏡、手袋などの保護具を着用する。

火災・爆発の防止

データなし

局所排気・全体換気

取扱いの際には、換気の良い場所で行う。

注意事項

スプレーミストや蒸気の発生する作業の場合は、局所排気装置を設置するか、防塵・防毒マスクを着用する。

安全取扱い注意事項

情報なし

接触回避

データなし

保管

保管条件

技術的対策

凍結、直射日光を避け、屋内で5～30℃の範囲内で保管する。

皮張り防止のため、使用後は密封して貯蔵する。

避けるべき保管条件

直射日光が当たる場所。

屋根がない場所。

開封状態での保管。

高温になる場所、およびその隣接した場所。

混触禁止物質

データなし

安全な容器包装材料

鉄、銅など腐食される恐れのある容器は使用しない。

8【暴露防止及び保護措置】

管理濃度

メチルシクロヘキサン：労安法；未設定

許容濃度

| | 日本産衛学会(2009年) | ACGIH(TLV-TWA)(2009年) |
|------------|---------------|-----------------------|
| メチルシクロヘキサン | 400ppm | 400ppm |

設備対策

取り扱う場所には適切な局所排気設備を設置することが望ましい。

保護具

呼吸器の保護具

防塵マスク、防毒マスク

手の保護具

保護手袋(ビニール製、ゴム製、ポリエチレン製等)

眼の保護具

側板付き普通眼鏡型又はゴーグル型保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具

長袖作業衣、安全靴

適切な衛生対策

この製品を使用するときは、飲食または喫煙してはならない。
 取扱い後はよく洗う。
 汚染した衣類を再利用する場合は洗濯する。

9【物理的及び化学的性質】

| | |
|----------------|------------------|
| 外観(物理的性状・色) | : 白色液体 |
| 臭い | : データなし |
| 粘度 | : データなし |
| pH | : 約 7 |
| 融点・凝固点 | : 約 0 (ほぼ水と同じ) |
| 沸点、初留点及び沸騰範囲 | : 約 100 (ほぼ水と同じ) |
| 引火点 | : なし |
| 爆発範囲の上限・下限 | : データなし |
| 蒸気圧 | : ほぼ水と同じ |
| 蒸気密度 | : ほぼ水と同じ |
| 比重(相対密度) | : 約 1.07(25) |
| 溶解度 | : 水で無限大に希釈可能 |
| n-オクタノール/水分配係数 | : データなし |
| 自然発火温度 | : データなし |
| 分解温度 | : データなし |
| 粘度 | : データなし |

10【安定性及び反応性】**安定性**

通常の保安、取り扱い条件では安定。

危険有害反応可能性

危険な反応はなし。

避けるべき条件

凍結、高温、直射日光

混触危険物質

データなし

危険有害な分解生成物

燃焼すると塩化水素、二酸化炭素、一酸化炭素等の有毒ガスが発生する。

11【有害性情報】**物理的、化学的及び毒性学的特性に関連した症状**

データなし

呼吸器感作性又は皮膚感作性

データなし

生殖細胞変異原性

強度の変異原性が認められる(ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂)

発がん性

報告されていない。

急性毒性含有成分のラット経口LD₅₀値は次のとおり

| | LD ₅₀ 値(ラット経口) |
|-------------------|---------------------------|
| エチレングリコール | 4,000 mg/kg |
| メチルシクロヘキサン | 1,200 mg/kg |
| ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂 | 11,400 mg/kg |
| トリエタノールアミン | 7,270 mg/kg |

皮膚腐食性・刺激性

皮膚に付着したままにすると炎症を起こす場合がある。

眼に対する重篤な損傷・刺激性

眼に入ると刺激がある。

生殖毒性

データなし

特定標的臓器・全身毒性 - 単回暴露

データなし

特定標的臓器・全身毒性 - 反復暴露

データなし

吸収性呼吸器有害性

データなし

12【環境影響情報】

知見のない項目が多いので、一般環境内には廃棄しない。

河川等に流入すると広範囲に白濁、汚染する。

生態毒性

データなし

残留性・分解性

データなし

生体蓄積性

データなし

土壌中の蓄積性

データなし

13【廃棄上の注意】**残余廃棄物の廃棄**

廃棄物の処理および清掃に関する法律、水質汚濁防止法に關与する。

産業廃棄物専門処理業者へ委託して処理する。

硫酸バンドを加えて凝固させ、凝固物は廃棄物の処理および清掃に関する法律に準じて処理する。

焼却する場合、塩化水素等の酸性ガスが発生するので排ガス対策が必要。

分離水は水質汚濁防止法に従って、廃水処理基準に合格することを確認してから処理する。

汚染容器及び包装の廃棄方法

上項に準じる。

14【輸送上の注意】

| | |
|-----------|---|
| 国連番号 | :なし |
| 指針番号 | :なし |
| 品名(国連輸送名) | :データなし |
| 国連分類 | :危険物として分類されていない。 |
| 容器等級 | :データなし |
| 海洋汚染物質 | :データなし |
| 安全対策 | :容器の破損、内容物の漏れがないことを確かめ、転倒、落下、破損の無いように積み込み、荷崩れを防止すること。 輸送中は、40℃以下に保つように日除け等の処置を講ずる。 |
| 陸上輸送 | :消防法、労働安全衛生法の輸送について定めるところに従う。 |

海上輸送 : 船舶安全法に定めるところに従う。

航空輸送 : 航空法に定めるところに従う。

15【適用法令】

化管法(PRTR法) : 該当物質なし
化審法 : 既存化学物質
労働安全衛生法 : 法第57条の2通知対象物
エチレングリコール、トリエタノールアミン
: 既存化学物質変異原生物質(労働基準局長通達)
ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂

廃棄物の処理及び清掃に関する法律：
水質汚濁防止法
下水道法

16【その他の情報】

主な引用文献

製品安全データシートの作成指針(改訂版) =社団法人日本化学工業協会=
原料メーカー発行の製品安全データシート
日本工業規格 JIS Z 7250、JIS Z 7251、JIS Z 7252

記載内容の問合せ先

株式会社ダイフレックス 技術グループ

TEL:047-436-0811 FAX:047-436-0815

本データシート記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成して入りますが、化学品の含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。
また注意事項は、通常の手扱いを対象としたものなので、特殊な手扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

以上